

会長所信

「ロータリーを知り、ロータリーを楽しもう！」

会長 森 雄司



皆さんにとってロータリークラブとはどのような存在でしょうか。様々な職業の方と知り合う場、共通の価値観の仲間を増やす場、地域社会や青少年に役立つ活動をする場、国際的な問題、災害などに役立つ活動をする場など、様々だと思います。

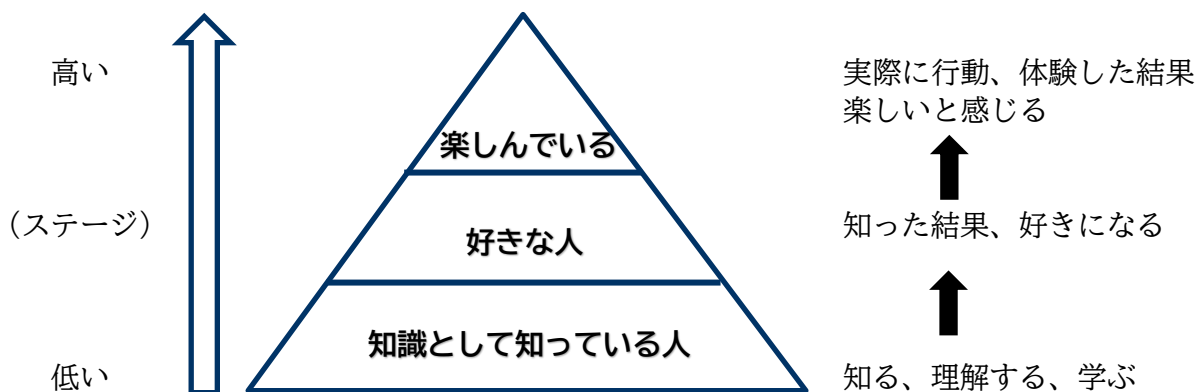
いずれにせよ、皆さんロータリーに関わる時間を有意義なものにしたいと感じていると思います。そのためにはどうすればよいでしょうか。

「論語」にこんな言葉があります。
「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。」

簡単に言えば、「知るよりも好きが上、好きよりも楽しんでいる方が上」ということで、楽しむことが最高のレベルであり最高のステージであるということだと思います。

- 知る → 理解する、学ぶこと
- 好き → 知る、理解する、学ぶことにより心が惹かれること
- 楽しむ → 実際に自分が行動し、体験した結果として感じる

つまり最高のステージである「楽しむ」ためには「知る(学ぶ)」「好きになる」「行動(体験)する」事が必要です。



今年度、私がやりたい事は「ロータリーを知り、ロータリーを楽しもう！」です。これには先に述べた論語に照らし合わせると隠れた部分があります。

- | | |
|---------------|-------------|
| ロータリーを知り | ・・・ (学び) |
| ロータリーを好きになり | ・・・ (好きになり) |
| ロータリーに参加し、実践し | ・・・ (実践し) |
| ロータリーを楽しもう | ・・・ (楽しむ) |

つまり 学び、好きになり、実践し、楽しむ、です。その中で「好きになり」「楽しむ」は「学び」「実践し」の結果として現れる感情なので、**私が特にやりたい事は「学び、実践する」**ことです。
「学び、実践する」ことの結果「好きになり」「楽しむ」ことができます。

ではどのように「学び、実践する」を進めればいいのでしょうか。
特に入会歴の新しい方にとって、ロータリーについて学ぶと言ってもどこから取り掛かればよいか迷うところだと思います。

そこでひとつ提案です。

- 委員会活動を切り口にする
皆さん、必ず委員会に所属しています。
委員会活動を切り口に「学び、実践する」ことをしてはどうでしょうか。
例えば、ニコニコ箱委員会に所属しているとします。

ニコニコ箱委員会

学ぶ

- ・ニコニコ箱の本来の目的、意味、意義とは
- ・集まったお金は何に使われるのか
- ・集まるお金が少なくなると、どんなことが出来なくなるのか
- ・集まるお金が多くなると、どんなことが出来るようになるのか

実践する

- ・ニコニコ箱について知った事、学んだ事を、例会等を通じ他の会員にも共有する
- ・ニコニコ箱が多く集まるための方策を考え、実行する
(例えば、例会の出席者が多くなるとニコニコ箱も増える可能性が高くなる。
出席委員会と協力して、出席率のアップとニコニコ箱のアップを共同で取り組む。)

以上ひとつの提案ですが、皆さんご自身が所属している委員会について、「学び、実践する」ことを1年間掘り下げてみてはいかがでしょうか。もちろん上記の「委員会活動を切り口にする」以外にも様々な切り口での「学び、実践する」ための方法があると思います。

いずれの方法においても是非お願いしたいことがあります。
それは入会歴の新しい会員の方は、経験豊富な会員の方に教を乞う、尋ねることをして頂けたらと思います。そして経験豊富な会員の方は、入会歴の新しい会員に対しご指導、サポートを何卒お願いしたいと思います。それがロータリー精神、また松山南ロータリークラブのDNAの継承に繋がると信じます。

今年度、期首にあたり、この「ロータリーを知り、ロータリーを楽しもう！」は今の時点ではまだ私がやりたいテーマにすぎません。今年度を通じて、「ロータリーを知り、ロータリーを楽しもう！」が皆さんも共感するテーマ、真のクラブテーマとなるように努力致します。

今年度のゴードン R・マッキナリーRI 会長テーマは「世界に希望を生み出そう」です。
そして第 2670 地区 吉岡宏美ガバナーのテーマは「挑戦しよう(Challenge/チャレンジ)」です。
「ロータリーを知り、ロータリーを楽しもう！」これを進めることが、RI テーマ、地区テーマにも繋がっていくと信じております。

皆さん、1年間どうぞよろしくお願い致します。